

D 麻酔科臨床研修プログラム

必修研修期間（救急部門）：12週間　＋　自由選択：（最長）35週間

1 プログラムの目標と特徴

麻酔の基本的な手技、全身管理の修得を目標とする。

2 プログラム指導者と研修施設

- (1) プログラム指導者：釧路労災病院麻酔科部長　小田　俊昭
- (2) 基幹施設：釧路労災病院麻酔科
- (3) その他：釧路労災病院全診療科

3 教育課程

(1) 週間スケジュール

カンファレンス：術前・術後カンファレンス（木曜日）

(2) 研修内容と到達目標

- ① マスクの保持、エアウェイの挿入
 - ・確実に気道確保ができる。
- ② 麻酔器具、麻酔器の理解
 - ・全身麻酔に必要な物品、麻酔器の構造について理解する。
- ③ 麻酔前の患者管理及び麻酔計画立案
 - ・術前の全身状態を正しく把握できる。
 - ・麻酔計画を適切に立てることができる。
- ④ 静脈確保
 - ・静脈路確保し適切に固定できる。
 - ・中心静脈にカテーテルを留置できる（内径静脈、大腿静脈）。
- ⑤ 動脈穿刺、動脈内カテーテル留置法と意義
- ⑥ 脊椎麻酔法
 - ・脊椎麻酔法の意義を理解し、手技を覚える。
- ⑦ 硬膜外麻酔法
 - ・硬膜外麻酔法の意義を理解し、手技を覚える。
- ⑧ 全身麻酔中の患者管理
 - ・麻酔薬の種類と使用方法について理解する。
 - ・不整脈の種類と対策について理解する。
 - ・術中に使用する輸液、輸血、血液製剤の適切な使用方法について理解する。
 - ・術中のモニタリングについて理解する。
- ⑨ 術前診療記録、麻酔記録の記載
- ⑩ 救急
 - 12週間のうち4週間は麻酔科で研修し、8週間は内科、外科、整形外科、脳神経

外科のいずれかに在籍し、麻酔及び救急の研修を行う。

イ 緊急を要する疾患、または外傷を持つ患者の初期診療に関する臨床的能力を身につける。

ロ 緊急処置を要する患者であるかどうかを判断できるように修練する。

ハ 心肺蘇生法に関する知識と技術を修得する。

気管内挿管を含めた気道の確保、人工呼吸法、心マッサージ、緊急薬剤の使用法、除細動など。

ニ 麻酔に必要な知識と基本的手技を修得する。

静脈路確保、気道確保（下顎保持、エアウェイ挿入）、気管内挿管、硬膜外腔穿刺、動脈内カテーテル留置、麻酔薬・筋弛緩薬の正しい使用

4 研修医の勤務時間

勤務時間は、8：15～17：00を原則とする。しかし、時間外緊急手術で上記勤務時間を超えて診療を行う場合もある。

5 評価方法

研修医は、指導医のもとで全身麻酔をかけ、終了後自己評価表を提出するとともに、指導医の評価を受ける。

※自由選択において、釧路赤十字病院・市立釧路総合病院・旭川医科大学病院で救急部門又は麻酔科の研修を行う場合は、当院臨床研修協力型病院臨床研修プログラムの規定に準ずる。

※臨床研修評価システム（EPOC）が導入された場合は、EPOCによる評価のみを行う。